

農村部の生活をよりよくする 小さなアイデア

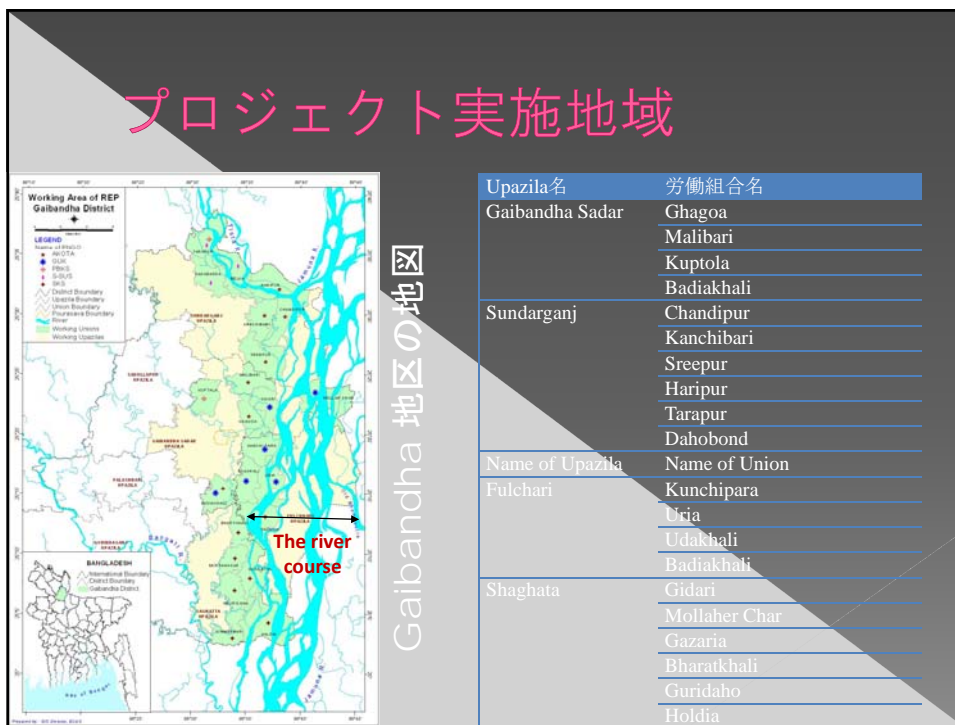
コミュニティ再生にむけて

プラバカール・シヴァプラム (PhD)
IGES気候変動プロジェクト研究員

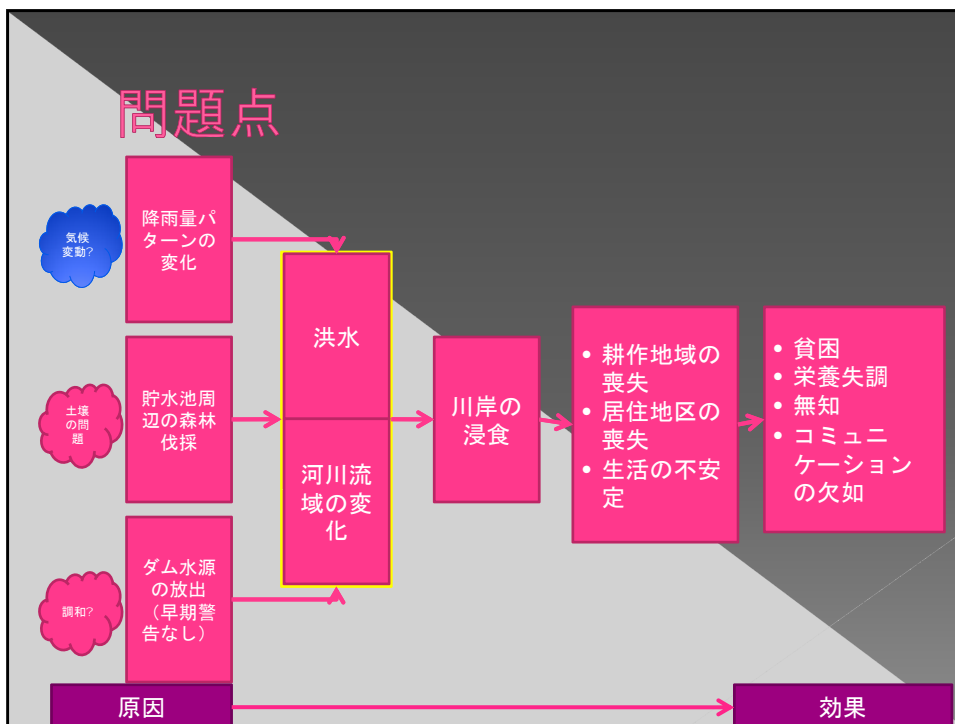
概要

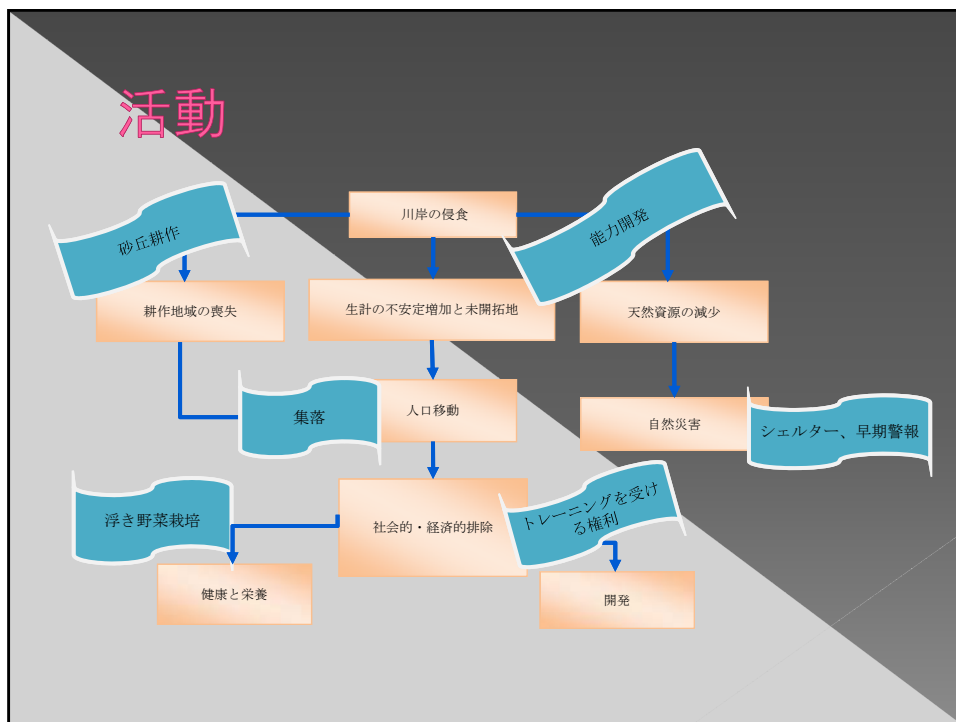
1. 問題点
2. 活動
3. 効果
4. 成功要因
5. 汎用性
6. 政策との関連性

プロジェクト実施地域



問題点





活動: 浮き野菜栽培

- 竹とウォーターヒヤシンスを使って浮き野菜の台を作る
- 費用：浮き野菜1区画につき200円

利点:

- 洪水・氾濫期でも野菜栽培が可能
- 栄養の安全性
- 稲作、その他穀物の栽培も可能
- 家計の余剰収入

砂洲農業： 砂の上で野菜を育てる！



利点：

- 簡単な手法!
- 汎用性が高い

簡単な手法：

- 深さ 1 m、直径 1 m の穴を掘る
- 有機物で穴を埋める
- スイカのためを植える!

他の活動



- ◎ 浮きかご漁業、地域漁業
- ◎ 牛肉製造、養牛
- ◎ 鴨業
- ◎ 陶業
- ◎ 工学的な能力 (例：ディーゼルエンジンの修理)
- ◎ 女子校の中退者向け手工芸品
- ◎ 洪水避難所など



投資の高い収益

活動	5カ年		CBR
	費用 (米ドル)	NR (米ドル)	
砂洲栽培	1353	116561	36
浮きガーデン	190	2225	46
かご漁業	1190	3937	7
養牛	1029	17171	2
鴨の飼育	320	8363	3
農作物の加工	308	86944	2
工学	567	59990	8

高い適応力

技術範囲	適応率 (プロジェクト利益の%)
砂洲栽培	68
かご漁業	64
家畜	65
陶業	47
農作物の加工	73
ライトエンジニアリング	40

影響

- 地域にすむ69,000人の雇用を促した。
- 2008年に、460人の砂洲農民が438,146個のかぼちゃを生産した(2244 MT)そしてUS \$ 165,784の純益があり、180日中、平均US \$ 359の収益があった。
- 2950もの野菜農家グループが、495.6 tonの野菜(消費・販売目的)を生産し、US \$ 48,796の収入があった。
- 2008年に、116人の浮き野菜農民が17.1 tonの葉野菜を生産し、US \$ 2,137の収入を上げた。
- 379人の浮き網漁業者が6カ月で9.4 tonの魚を捕獲し(2006年7月~2007年1月) US \$ 9825の収入があった。
- 2007年の洪水で、約325の民家、869の牛 and 512の飼育鳥が2つの避難所に避難した。



成功要因



- 洪水>浮き野菜農園と養鴨場
- 低価格で導入しやすい
- 絶対貧困層

汎用性

- ◎ この技術は、同じような条件下で応用できる（海岸線沿い、Brahmaputra川などの河川）
- ◎ 高いインセンティブ: 投資に対して高い利益
- ◎ 低価格で単純: 広範囲で適用が容易

政策との関連性

- ◎ 砂洲・砂丘などの自然資源へのアクセスを提供する。
- ◎ 現行の研究を支流化しバングラデッシュ政府のイニシアティブを発展させる。
- ◎ 気候変動の要因を理解する: 河の流量などの具体的な理由と関連性。
- ◎ 政府によるそのものへの問題意識。
- ◎ 洪水防止管理体制の再検討¥。
- ◎ 地方での民間団体の参入。

